

## ドイツ医師会総会出席の件（報告）

1. 期 間 平成 26 年 5 月 27 日（火）～30 日（金）
2. 場 所 デュッセルドルフ（ドイツ）
3. 参 加 横倉会長、松原副会長、石井常任理事
4. 内 容 ドイツ医師会からの招待に応じ、横倉会長、松原副会長、石井常任理事が第 117 回ドイツ医師会総会に出席した。総会では、冒頭、海外参加者 30 カ国 3 団体約 50 名を代表して横倉会長がドイツ語で挨拶を行った。また、総会に前後して、横倉会長、石井常任理事がドイツ医師会雑誌のインタビューを受けた。

### 5. 日 程

5 月 26 日（月） ドイツ医師会雑誌インタビュー  
ノルトライン医師会主催晚餐会

5 月 27 日（火）

ドイツ医師会総会開会式典

歓迎挨拶	Rudolf Henke	ノルトライン医師会長
開会挨拶	Hanelore Kraft	ノルトライン・ヴェストファーレン州首相
開会挨拶	Dirk Elbers	デュッセルドルフ市長
挨拶	Frank Ulrich Montgomery	ドイツ医師会長
歓迎挨拶	Hermann Grohe	ドイツ連邦保健大臣

ドイツ医師会総会

海外参加者代表挨拶 横倉 義武 日本医師会長

総会議事 27 日（火）～30 日（金）

テーマ 医療政策

予防医療

公共医療サービス

痛み緩和治療の改善

専門科研修規則改訂

ドイツ医師会規則第 5 項の修正

ドイツ医師会年次活動報告

欧州のヘルケアに対する経済危機の影響報告

等々

ドイツ医師会雑誌インタビュー

ドイツ医師会主催夕食会

第 117 回ドイツ医師会総会

2014 年 5 月 27 日

デュッセルドルフ、ドイツ

挨拶

日本医師会長

横倉 義武

敬愛なるモントゴメリー教授（ドイツ医師会長）、  
敬愛なるヘンケ先生（ノルトライン・ヴェストファーレン州医師会長）、  
敬愛なるドイツ医師会の理事の皆様、  
敬愛なる代表の皆様、

このたびは、第 117 回ドイツ医師会総会に、またヘンケ先生におきましては、昨日素晴らしい夕食会にご招待いただき、誠に有難うございます。

日本医師会を代表してひとことご挨拶をさせていただきます。

今回、久しぶりのドイツということで、昨日は留学当時お世話になった恩師であるルッツ・ブラウン教授に会いにヴェストファーレン・リッペにあるデトモルトを訪れました。1977 年から 2 年間、ミュンスター大学教育病院デトモルト病院外科で医師としての研鑽を磨いた時から実に恩師とは 35 年ぶりの再会となり、旧交を温めると共に懐かしい若かった時代を思い出しました。

歴史を遡れば、日本とドイツの医療分野における密接なつながりはすでに 400 年前から存在しておりました。私が学んだヴェストファーレン・リッペの現在のレムゴ市出身の医師であったケンペルは、1690 年、鎖国時代の日本において西洋の医療を紹介し、日本の医学に大きな影響を与えました。

1869 年、日本はドイツ医学の採用を決定し、ドイツ人医学教師の招聘と日本人医師にドイツ留学を奨励しました。同時期に来日したドイツ人医師のベルツは医学教育、臨床医学の分野で日本の医療の西洋化に大きく寄与されました。

日本医師会の創始者である北里柴三郎はドイツへの留学でロバート・コッホに師事し、破傷風菌純培養法と破傷風菌抗毒素の発見をしました。こうしたドイツでの研究成果が帰国後に日本の医療、とりわけ公衆衛生の中での感染症の研究を大幅に推進し、日本の医療をリードし、この間日本医師会を設立して初代の会長になりました。

このように、その流れが現在まで脈々と伝えられることを考えると、今回ドイツを訪問することは実に感慨深いものでもあります。

とくに、本会とドイツ医師会は 1951 年に同時に WMA に加盟したこともあり、WMA を通じた国際活動では最近いっそうの連携を強くしております。本日、日本医師会から参

加させていただきます。石井常任理事は、WMAで財務担当役員の役職におられる貴会のモントゴメリー会長とは長年よきパートナーとして活動しております。また、ヘルシンキ宣言の改訂作業につきましては、貴会のラミン・パルサパルシ理事の献身的な努力が実を結び、昨年10月のフォルタレザでのWMA総会で一步前進した改訂版が出来上がりました。日本医師会もこの改訂作業に参加させていただきましたが、ドイツ医師会のもつ緻密さと完璧さを追求する強い精神力に感心させられました。こうした精神がWMA始め、国際活動でのドイツの先生方の高いリーダーシップを支えているのだと思っております。

今年のドイツ医師会総会のテーマは予防医学と公共医療サービスと伺っております。これらのテーマは、少子高齢化が急速に進んでいる日本でもきわめて大きな課題であり、日本医師会として国民の期待に応えるべく日頃検討を重ねております。今回の総会で、ドイツでのこの問題解決への取り組みについて大いに学んでゆきたいと存じます。

最後に、第117回ドイツ医師会総会の成功と、ドイツ医師会のさらなる発展、そしてドイツの医療が世界の医療に益々貢献されますことを祈念し、私の挨拶とさせていただきます。

ありがとうございました。

第 117 回ドイツ医師会総会  
 海外参加者  
 2014 年 5 月 27～30 日  
 デュッセルドルフ、ドイツ

	所属	役 職	氏名
1	日本医師会	会 長	横倉 義武
2	日本医師会	副会長	松原 謙二
3	日本医師会	常任理事	石井 正三
4	世界医師会 (WMA)	次期会長	Dr. Xavier Deau
5	世界医師会 (WMA)	事務総長	Dr. Otmar Kloiber
6	アメリカ医師会	会 長	Dr. Ardis Hoven
7	アルバニア医師会	会 長	Dr. Din Abazaj
8	イギリス医師会	理事会議長	Dr. Mark Porter
9	イギリス医師会	EU 政策課長	Mr. Paul Laffin
10	イギリス医師会	国際委員会委員長	Dr. Terry John
11	イタリア医師会	副会長	Dr. Maurizio Benato
12	イタリア医師会	国際部	Mr. Davide Martinelli
13	南チロル医師会／イタリア	会 長	Dr. Andreas von Lutterotti
14	エジプト医師会	外科教授	Prof. Ashraf Shoma
15	EU アジア医学会	事務局長	Dr. David-Anatol Resnikov
16	欧州常設委員会	会 長	Dr. Katrín Fjeldsted
17	オーストリア医師会	会 長	Dr. Artur Wechselberger
18	スティリア医師会／オーストリア	会 長	Dr. Herwig Lindner
19	オランダ医師会	会 長	Prof. R.J. van der Gaag
20	カザフスタン医師会	会 長	Prof. Maksut Kulzhanov
21	カザフスタン医師会		Dr. Vladimir Kraisman
22	カメルーン医師会	事務局長	Dr. Bidjogo Atangana
23	カメルーン医師会		Dr. Alain Nguento
24	クロアチア医師会	副会長	Dr. Dražen Borčić
25	コソボ医師会	会 長	Dr. Zylfije Hundozi
26	スイス医師会	会 長	Dr. Jürg Schlup
27	スロバキア医師会		Dr. Jozef Weber
28	スロベニア医師会	会 長	Dr. Andrej Mozina
29	スロベニア医師会	事務局長	Brane Dobnikar
30	セルビア医師会	事務局長	Dr. Tatjana Radosavljević
31	チェコ医師会	会 長	Dr. Milan Kubek
32	デンマーク医師会	会 長	Dr. Mads Koch

33	デンマーク医師会	CEO	Ms. Bente Hydahl Fogh
34	トルコ医師会	会 長	Dr. Ozdemir Aktan
35	ハンガリー医師会	会 長	Dr. István Éger
36	フランス医師会	会 長	Dr. Patrick Bouet
37	フランス医師会	事務局長	Dr. Walter Vorhauer
38	ブルガリア医師会	会 長	Dr. Cvetan Raychinov
39	ブルガリア医師会	副会長	Dr. Kiril Elenski
40	ベルギー医師会	国際担当役員	Dr. Bernard Maillet
41	ポーランド医師会	会 長	Dr. Maciej Hamankiewicz
42	ボスニア・ヘルツェゴビナ医師会	会 長	Dr. Harun Dr.ljević
43	スルプスカ医師会／ボスニア・ヘルツェゴビナ	連邦調整役員	Dr. Momčilo Biuković
44	マケドニア医師会	会 長	Prof. Dr. Kocho Chakalaroski
45	マケドニア医師会	理 事	Dr. Indriz Orana
46	マケドニア医師会	理 事	Dr. Georgi Petkov
47	モンテネグロ医師会	会 長	Prof. Olivera Miljanović
48	ラトビア医師会	会 長	Dr. Peteris Apinis
49	ルーマニア医師会	副会長	Dr. Gheorge Borcean
50	ルーマニア医師会		Prof. Dr. Francisc Jeszenszky
51	ロシア医師会	事務局長	Dr. Leonid Mikhaylov
52	ロシア医師会	通 訳	Oxana Lokushus